＜2 「『遊び　学び　育つひろしまっ子！』育みシート」の活用＞
(1)「『遊び 学び 育つひろしまっ子！』育みシート」の概要

乳児版と幼児版でシートは分かれていますが、育ちは0歳からつながっています。

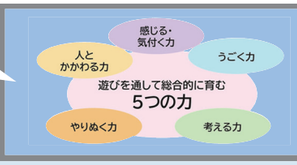
乳児版は3つの視点をもとに見られる姿を挙げています。

《幼児版》
「遊び　学び　育つひろしまっ子！」育みシート

広島県教育委員会　乳幼児教育支援センター

このシートは、今、目の前にいる
子供の姿をもとに見取り、それに
どうすればよいのか、保育者同士が
月齢や年齢はあくまでも目安で
こと、その子らしさを認めようとす

「5つの力」と「乳幼児期に育みたい資質・能力」はすべての乳幼児期の力や育ちを支えています。



要領・指針における「乳幼児期に育みたい資質・能力」と、広島県の「5つの力」の方向性は同じであり、遊びを通して総合的に育まれるものです。

3歳児 ～ 4歳児 ～ 5歳児 ～ 小学校以降

架け橋期

	3歳児	4歳児	5歳児
発達の特徴	様々なことに挑戦するが、「自立」と「依存」が行きつ戻りつする	人に対する興味や親しみが増え、自分中心の主張をしながらも周りの人と関わっていく	互いの良さや特性に気付き、人間関係が広がるとともに、深まっていく
関わりのポイント	挑戦しようとしていることを見守り、「やってみたい」という思いを支える	一人一人の感情や思いを受け止め、他者との思いの違いや多様性に気付けるような援助をする	協同的な活動や人との関わりを通して、一人では味わえない経験を大切にする

各年齢の発達の特徴と保育者の関わりのポイントを記載しています。
これらを踏まえて、乳幼児期の育ちをどのように支えていけばよいのかを考え、指導計画や保育内容の改善、保育者の援助の振り返りなどの参考にしましょう。

健　康

生活習慣が少しずつ自立してくる
・衣服の着脱、食事、排
保育者

基本的な生活習慣が身に付いてくる
うになってくる

自発的に行動する
・生活や1日の流れに見通しをもち、身の回りのことを進んで行う
・どうしたら健康、安全に過ごせるかなどに気付き、自分で行動する

全身を使って、よ
・戸外で走り回ったり
できたことを喜ぶ
・三輪車や固定遊具

縄、ボールなどを使った

バランス感覚、集中力を発揮する遊びを楽しむ
・鬼ごっこや集団遊びなど、状況に合わせて自分の体をコントロールしながら、全身を動かして遊ぶことを楽しむ

自分でしようとする
・身近な人に見守ら
みようとする
・身近な人や友達がやって

の気持ちを受容、共感
に気付く
・集団の中で葛藤しながら、少しずつ自分の気持ちの折り合いが付くようになる

自信をもって行動し、達成感を味わう
・うまくいかないことがあっても、周りの人に励まされながら、あきらめずに満足いくまで粘り強く取り組む
・当番活動や人のためにできること、自分の長所などを周りの人に認めてもらい、喜びや達成感を味わう

人間関係

身近な人や友達と過ごす楽しさを感じる
・嬉しい、楽しい、悲しい、悔しいなどの気持ちを身近な人に共感してもらうことで、安心する
・保育者が一緒に遊んだり、他児との関わりを広げたりすることで、友達や周りの人との関わりが楽しくなる

思いやり、憧れ、尊重など様々な気持ちをもつ
・仲良しの友達や小さい子が困っていること、してほしいことを考え、手伝ったり、世話をしたりする
・年長児や周りの人を見て「あんな風にしてみたい」と、憧れの気持ちをもつ
・生物や植物などの世話をする中で、命の大切さを知る

友達と共通の目的をもち、楽しさや喜びを味わう
・友達と楽しさを共有し、アイデアや思い、イメージなどを話し合いながら、考えたり、力を合わせて協力したりする
・自分たちでルールや役割分担を決め、遊びを楽しむ

生活や遊びの中できまりがあることに気付く
・簡単なルールのある遊びを
・自分の気持ちを保育者に
気付くようになる

相手を尊　**気持ちをもつ**
違いや、周りの人の好きなことや得意なことなどに

り、きまりの大

相手の
考える

環　境

遊びの中で道具の使い方が
・スコップ、ボール、おもちゃ
様々な道具や素材を使っ
・繰り返し遊びを
楽しんだりする

びを楽しむ
動を見たり、考

の中に
し合い

自然に触れて遊ぶ
・身の周りの自然や環境と関わりながら、土、砂、動植物など、自然の変化や不思議さに気付く
・自然に触れ、思ったことや感じたことを周りの人と共感し、興味をもって伝え合う

る
・様々な環境や自然に変化があることに気付き、遊びや生活に取り入れ

遊びを
めたり、

数字や文字などに興味や関心をもつ
・生活や遊びの中で、数量を数えたり、大きさや長さ比べなどをしたりする

色、形、数量などに気付く
・色や形を考えながら、積み木、玩具などで遊ぶ
・生活や遊びの中で、色、形、数量などに興味をもち、分けたり集めたりして遊ぶ

自分の言葉で伝える喜びを感じる
・身近な人に自分が発見したことや気付いたことを伝えようとする
・なぞなぞやしりとりなど、遊びを通して、

自然や生命を大切にする気持ちをもつ
・行事や季節の変化などを楽しむ中で、生命の尊さや自然、宇宙の不思議さなどに気付き、興味や関心をもつ
・身近な動植物の世話をしたり、成長を感じたりする中で、命を大切にしようとする

言　葉

自分の気持ちを言葉や態度で表現する楽
・絵本や紙芝居などの言葉からイメ
世界を楽しむ
・自分の感情や行動などを周り
思いを言葉や態度で伝える

表　現

イメージや遊びを共有して楽しむ
・身近な人と一緒に歌ったり、踊ったりして、
・様々な素材や道具、おもちゃなどを使って遊
を使ってなりきったりすることを楽しむ

びや世界観を楽しむ
ものを作ったり、それ

ことを楽しむ
・自分が作ったものに愛着をもって遊んだり、飾ったりする

・物事を自分事として捉え、興味や関心をもって人の話を聞く
・イメージを仲間と共有したり、相手の立場で考えたりしながら
歌、制作物などで表現して楽しむ

葉や

乳幼児期から小学校へ続く育ちや学びのつながりを意識しましょう。

健康な心と体
・生活の流れを見通したり、安全に気を
けたりして行動する
運動遊びの楽しさに触れ、身体

通に対して意欲的

分からないことは
取り組む

協同性
己を発揮しながら
教師や友達と協力し、生活したり
学び合ったりする

道徳性・規範意識の芽生え
・身近にいる人の気持ちを考え、温かい心で接し親切にする
・自分の振る舞いを振り返りながら、約束やきまりを守る

社会生活との関わり
・身の回りの様々な人や施設等に興味や関心をもち、調べたり体験したりしながら、学校や地域への親しみをもつ

思考力の芽生え
・ものの性質や仕組みなどに興味や関心をもち、友達と協力して考えたり試したりしながら、問題を解決しようとする

自然との関わり・生命尊重
・動植物や季節の移ろいなど、身近な自然に関心をもち、それらと関わりながら、命あるものを大切にする気持ちをもつ

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
・日常生活にある数量、図形等について、具体物の操作などを通して考えたり表現したりする
・いろいろなお話を聞いたり、いろいろな本を読んだりして、読書に親しむ

言葉による伝え合い
・自分の伝えたいことや相手の状況に応じて、言葉や表現を工夫して話したり書いたりする
・話し合いを通して、互いの思いや考えを受け止めたり認め合ったりする

豊かな感性と表現
・手や体全体の感覚を働かせ、身近な材料や用具を使って、絵や工作などの活動を楽しむ
・曲想を感じ取って表現を工夫しながら歌ったり、演奏したりする

←幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
（文部科学省ホームページ）

《幼児期の終わりまでに育ってほしい姿》

乳児保育の内容の「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」という3つの視点と、3 歳以上児の保育における5領域（「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」）のねらいや内容に対応しています。

下線太字部分は、その月齢や年齢になると見られる子供の姿を、下線太字部分の下は、より具体的な内容を示しています。
実際には、これ以外にも多様な姿があります。一人一人の発達や特性も大切にして、丁寧に見取りましょう。

月齢や年齢は目安で、一人一人の発　達の特性や育ちは個々に違います。

子供の姿の背景や今の姿などから子
ねらいや願いをもち、保育実践に生

供理解を深め、次の保育における
かしましょう。